

白川郷の合掌造り



第 2 号
平成11年12月1日

発行 (財)世界遺産白川郷
合掌造り保存財団
岐阜県大野郡白川村荻町
2495番地の3



合掌屋根維持には毎年欠かせない棟茅葺替え

世界文化遺産の登録から4年を経ましたが、この間当初には予想もしなかった程の大勢の観光客が我が村を訪れ、観光客をいかに増やすかと血まなこにな

だろうと今一度考えてみると、規制が厳しくて住みづらいと言いなながらも地域に住む人の誇りというものが、強いのではないかと感じています。自分の住んでいる地域に誇れるものがあるということとは素晴らしいことです。その誇れる伝統的集落景観を地域一体となって保存し、世界一自然環境にやさしい地域にしていきたいと思っています。

さらに庄川村へ通じる国道156号線の改良工事も進行しており、間もなく本村の交通体系は大きく変貌することが予想されます。

今後、来訪する観光客も更に増加することが予想され、いきおい合掌造り集落環境の保全にも今以上の対策が要求されることになるでしょう。財団では近い将来に予測されるこうした情勢を踏まえ、秩序ある合掌造り集落の保存と、住民の快適な生活環境の整備を推進すると共に、

合掌造り集落保存・住民生活・観光の調和をめざして

財団法人世界遺産白川郷合掌造り保存財団

理事長 谷 口 尚

っている全国の自治体に比べ大変ありがたいことだと思っています。おかげで村内、とくに荻町の活況はめざましく、若者たちの活動も目立ちます。

修景や生活環境の改善を支援しています。村ではすでに集落全域にわたる下水道の本管布設工事は完了し、本年度から電線の埋設工事にも着手しております。

白川村の人口は過去25年間に632人減少(国調統計)していますが、荻町区の人口は変動がありません。荻町の魅力は何

また、東海北陸自動車道も南は庄川インターまで本年11月に供用開始となり、北の富山県上平インターも平成12年に開通予定、

諸先輩方が築いてくれた文化遺産、それが単に日本的な価値レベルでなく世界的な、また人類的な価値レベルで認識されています。文化遺産の保存と住民生活、観光産業の調和に基づく発展のもとに、荻町集落、ひいては村全体の持続的かつ創造的に豊かな社会の実現を目指し、引き続き努力したいと思います。

白川郷はますます ツアー化傾向に

白川郷が世界遺産に登録されて4回目の夏を迎えました。登録直後ほどではないにしても、観光客数はまだまだ増加の一途をたどっています。なかでも顕著なのが大型バスの増加です。高速道が近くまで延長してきたことにより、アクセスが容易になりました。そこで観光業者が金沢―白川郷―奥飛騨温泉郷(泊)といったツアールートで次々と乗り入れ、結果季節を問わず、駐車場にはバスが並ぶ状態となりました。沢山の人が興味を持って、村を訪れて下さることは有難いと思う一方、中にはこの傾向を危惧する声も聞かれます。「二時間、あるいは一時間足らずで、慌ただしく次の観光地へ旅立ってしまうのでは、本当に白川郷の文化や世界遺産保存の意義などを理解されるとは言いがたい。」「合掌造りの隣にバスが並んでいるのは無粋極まりない。」「現状に対し、古くからの素朴さを愛するファンが離れつつある。」等様々です。

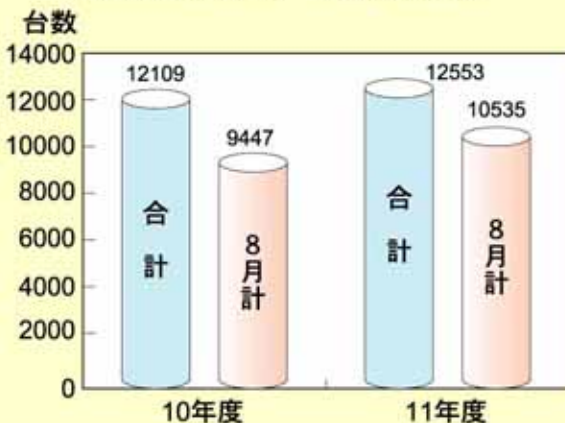
しかし、この状況は今後高速道路の開通により、ますます加速していくでしょう。受け入れる側の私たちも、手をこまねいているだけでなく積



年々増加するツアーバス (せせらぎ公園小呂駐車場)

極的な受け入れ体制を確立していかなくてはなりません。集落内への大型バス乗り入れ規制、ボランティアガイドの育成、白川村内における食事処、宿泊施設の増加、地場産業の開拓など、住民の賛同を得ながら、村ぐるみで取り組んでいく必要があります。行政と住民の橋渡しの位置にある当財団も荻町の保存と振興発展が両立できるよう努力していきたいと思えます。

せせらぎ公園小呂駐車場
入場台数総計7/18~8/31 (普通車)



せせらぎ公園小呂駐車場
入場台数総計7/18~8/31 (大型車)



韓国河回村との文化交流

1999年白川村と韓国安東市河回村との文化交流が始まりました。韓国河回村は来年の世界遺産登録に向け準備を進めている韓国を代表する両班(ヤンバン)農村集落で民俗文化と伝統的な家屋が多く残っている村です。

今年の3月6日、村内有志が集い第一回訪韓団が生まれ河回村へ実際に行ってきました。今回の交流では様々な発見をし、「守り受け継ぐ」という事を自分達の身に置き換えて考える事ができ、非常に有意義なものでした。今回は韓国河回村の紹介と共に我々の感じたことをお伝えしたいと思います。

雄大な集落景観

河回村は韓国の歴史文化が色濃く残る都市、安東市(人口18

万人)のほぼ真ん中にあります。集落は韓国の三大河川の一つ「洛東江」の沿岸に位置し、その名の如く川に三方を囲まれており、対岸の「芙蓉台」と呼ばれる高台から集落の美しい全景を望む事ができます。この「洛東江」「芙蓉台」とその周りの山々が織り成す雄大なランドスケープに河回村の集落、田畑が非常に良く調和しており、まさに韓国を代表する集落景観であると言えます。景観を構成する要素は、荻町の「庄川」「城山展望台」と共通するところが



芙蓉台から河回村を望む

あります。

両班文化の村

河回村は集落全体が文化財指定され、面的な保

存がされています。日本の「伝統的建造物群保存地区制度」と似た制度であり、その点でも荻町と共通しています。人口は220人、集落は主に瓦屋根とわら葺屋根一階建ての建物で構成されており、それらをあわせて292棟の建物があります。河回村は両班集落、いわゆる貴族文化が色濃く残る村として有名で瓦屋根の家は両班(ヤンバン)の家屋で大門、祠堂、主人の居間棟、母家などで構成されており、両班伝統家屋の様式を良く残しています。瓦屋根の建物は集落内に113棟、それに対しわら葺き屋根の家は86棟あります。

わら葺根の民家群

両班家屋を取り巻くようにわら葺き屋根の民家が建ち並んでおり、瓦屋根の堅いイメージの景観に柔らかくやさしい雰囲気を与えてくれます。わら葺き屋根の家は両班に仕えていた人々の家であり土壁に土天井、その上にわら葺きで屋根が葺かれています。屋根は毎年葺替えが行われ、白川村と違いわら葺根を地上で編んでから建物に乗せま

農業の村から

村の生業は農業で集落の周りには耕作地が広がっています。耕作地は村人全員が生活できるほどの十分な広さがあります。最近ではわら葺の民家を民宿やお土産屋等で活用している家も多いらしく、現地ですぐ見かけました。観光の収入もこれから随分と増えていくのではないのでしょうか。村の中の道はほとんど舗装がされておらず、駐車場は集落の外にあり観光客は160円の入村料を払って村の中に入り、歩いて村を観光します。

伝統芸能「仮面劇」

また、河回村は重要無形文化財に指定されている伝統芸能の仮面劇「河回別神仮面舞」(ハフエビョルシングツノリ)が有名で、喜劇仕立ての劇は太鼓とラッパの音色に合わせ、とてもユーモラスな雰囲気で見客と一緒に進んでいきます。我々も最終日に見る事ができ、とても感動しました。言葉が分からなくても、ある程度理解できます。そこがやはり伝統芸能の凄いとところだと再認識しました。

これからの河回村

実際に河回村に足を運び、いろいろな事を感じ、河回村のこれからの事についてたくさん悩む事を垣間見ました。まず一つは年齢層の問題で、やはり働き手である青年層がほとんどいないことが悩みの種だそうで集落の将来を考えると切実な問題です。村内で行われる仮面劇も現在は村外の人々が行なっています。さらに、階級制度によって形作られてきた集落をいかに保存していくのか。この事が私たちの大きな疑問で、観光収入が入ってくるようになれば庶民層の人々にも経済的な余裕ができ、わら葺の屋根は瓦葺きの屋根に変わっていくのではないだろうかかと素朴な疑問をもちました。

我々が韓国から帰ってきて3ヶ月後、今度は河回村の人たちが白川村にやってきました。河回村の人たちは我々が河回村で感じたようにいろいろな事に興味を持ち、違った視点で白川村を見て帰って行きました。交流の距離は遠いけれど今までに感じた事の無い親近感を感じました。この親近感を大切にしていくためには良い関係が築けていけるのではないのでしょうか。

「結(ゆい)カード」会員募集中!

当財団では、基本財産から生じる運用益を活用して合掌造り集落の保存及び景観保存事業を行っていますが、最低でも年間18,000千円の事業費が必要です。しかし、近日の利息の低下により、運用益だけでは必要事業費には、はるかに及ばないのが実情です。そのため、緊急度の高いものから優先し、岐阜県の助成を得ながら、緊縮した村の会計から捻出して対処しているのが現状です。



「結カード」

財団では基本財産の更なる充実を図るため、合掌集落保存基金への寄附金を募る一方、株式会社セントラルファイナンスとの提携による「結(ゆい)カード」を発行する事になりました。

この「結カード」は「アフニティカード」と呼ばれ、共通の趣味・考え方をを持った人々を会員対象とし発行するカードであり、入会いただくことによりカード利用金額のうち、一定割合が合掌集落保存基金に充てられることとなります。

▼寄付の流れ



お問い合わせ
資料請求

〒501-5627

岐阜県大野郡白川村荻町2495-3

(財)世界遺産白川郷合掌造り保存財団 「結カード」係

☆お電話・FAX・インターネットでも受け付けています

TEL (05769)6-3111 FAX (05769)6-3113

<http://shirakawa-go.org/kikin.html>

探訪〜

右の写真を見てください、どちらのお宅だと思えますか?そうです、荻町駐車場脇のおタンゴ屋さんの「ちとせ」さん宅です。きれいな家でしょう。以前、家の裏手側が全面トタン張りであった外壁を全面板張りにして荻町の修景に協力してくれました。トタンの頃と比べると大分、よい感じになりましたよ。最近こういった協力してくれる家が多くなってきました。財団ではこのような協力に対し、助成金を交付しています。



施工後



施工前

ホームページ発信中！

現在、インターネットは一般に利用できるネットワークとして、大きく発展しています。各自治体においても活性化の方策として、インターネットを利用した地域情報の発信が盛んに行われており、当財団としても伝建物の保護、環境問題に広く理解を求めるとともに、保存基金の充実を図るためホームページを作成し情報発信することになりました。

合掌集落保存の現状や問題点、基金の募集及び運用状況など順次追加・更新する予定です。是非、ご覧ください！

ホームページアドレス <http://shirakawa-go.org/zaidan>



施工後



施工前

～きれいになりましたね

次は、こちらの写真です。上下の写真を見比べてみて下さい。同じ場所とは思えませんよね。丸栄建設の旧事務所が除去され後ろの神田さん宅離れと、入母屋の小さな祠がよく見えるようになりました。旧事務所は昔、牛舎として使われていた建物を改造して事務所としていたもので、神田さん宅の離れの軸部修理工事に伴い事務所を離れに移転して旧事務所を除去しました。所有者の神田吉治さんは「離れともども、こんなにきれいになるとは思わなんだ。やって良かった。」と御本人も驚いていました。荻町展望台からの景色も大分変わり、神田さんは「展望台から自分の家を探しにくくなった。」と笑顔で話してくれました。

平成10年度に財団が行った事業

1. 修理事業

・差し茅助成 12棟	1,971,000円
・棟茅葺替え 78棟	3,950,000円
・伝建物修理費 5棟	1,233,000円
・トタン屋根葺替え助成 6棟	4,015,000円

2. 修景事業

・修景協力費助成金 33棟	5,748,000円
・ビニールシート指定色奨励事業	24,948円

3. 守る会活動助成

1,000,000円

ありがとうございます

募金ご協力者一覧 (敬称略)

平成10年度

岐阜県	久保田信司/全国鶯おう会/早川寛雄/小瀬和子/小邑工芸/長谷川良夫/林 正/河合志ん/榊三輪酒造/荒家福廣/越美幹線新設工事(第12工区)川北・東光・鈴鹿企業共同体/飛騨県事務所林務課/岐阜県町村会事務局/旧遠山家民俗館/白川村内竹筒募金(山楽堂 おけさ めびすや白川郷観光案内所) 萩町自然環境を守る会募金箱
愛知県	坂次一夫/伊藤睦子/稲葉忠雄/岡部光治/内田州昭/中日本航空株式会社/岩田美枝子
石川県	山本美鳥
富山県	越美幹線新設工事(第13工区)山加・南・メイウ企業共同体
福井県	大口 勝
新潟県	長岡造形大学/大林明夫/石田武志
秋田県	石川計二
岩手県	泉山 明
東京都	黒澤英明/㈱NHK情報ネットワーク
奈良県	小高徹斎/北村秀雄/小野幸子
埼玉県	平田佳三/矢島隆二/斉藤和美/細谷恵子/白井良明
大阪府	向坂修一
京都府	柴沢志津/野原蝶華
奈良県	吉川 太
兵庫県	西本照也
愛媛県	渦岡平一郎
香川県	柴田 聡

世界遺産白川郷合掌集落保存資金にご理解とご協力を

財団では、白川村が行ってきた、白川郷合掌集落保存基金の趣旨を受け継ぎ、萩町集落に暮らす住民の生活により密着した保護施策を進めるため、集落景観に重大な影響を与えるような生活上で受ける制約に対して、その負担の一部を助成してまいります。

それらの経費を賄うには、財団のわずかな基本財産の運用益だけでは、はるかに及ばないのが現状です。

現在は、それを補う窮余の策として、岐阜県の助成を得て、白川村が、緊縮財政の中から捻出しています。今後、財団に対して要請される事業が、社会情勢の変化に伴って、ますます多様化していくものと予想されます。財団が、このような課題にできるだけすみやかに、的確に対処していくためには、基本財産をより充実し、運用できる果実をもっと増やさなくてはなりません。どうか、財団の趣旨にご賛同くださり、皆様の暖かいご支援、ご協力をお願いします。

基金に対するご寄附お送り先

振替による場合

- ・郵便振替口座 00810-6-51954
- ・飛騨農業協同組合白川支店(普) 9203800
- ・十六銀行白鳥支店(普) 261-213783
- ・八幡信用金庫荘白川支店(普) 03-034293

現金書留による場合

〒501-5627

岐阜県大野郡白川村萩町2495-3

世界遺産白川郷合掌造り集落保存基金事務局

TEL(05769)6-3111 FAX(05769)6-3113

※インターネットでも受付けています

<http://shirakawa-go.org/kikin.html>

平成11年度 (11月現在)

岐阜県	早川寛雄/若山光円/榊三輪酒造
愛知県	堀岡 整
滋賀県	㈱文教スタジオ
三重県	小田信雄
和歌山県	石田真紀/つれもて会
東京都	黒澤英昭/右田恵子
宮崎県	山下和矩

不況の影響も在ってか、今年
はマイカーで訪れる方よりもツ
アーバスを利用される方が増加
しています。▼私ども合掌造り
保存財団はあくまで、観光とは
一線をおいた未来永劫に至るま
での合掌造り集落保存体制を確
立し、合掌基金をもとに実践す
るのが目的なのですが、諸々の
事情により村営有料駐車場及び
総合案内所の受託事業も行って
おります。もともと駐車場収益
の一部が合掌基金に組み入れら
れるのですから全く関係のない
仕事ではないのですが、しかし
そうなる観光客数の増減はや
っぱり気がかり。▼平成大不況
から抜け出す糸口も見出せない
ままに、残念ながら募金協力し
て下さる方も年々少なくなら
れるなか、駐車場からの基金捻
出が、かなりのパーセンテージ
を占めるのは事実。観光なくして
保存は成り立たないのでしょ
うか。▼案内所兼財団事務所
で仕事をしていると観光客の話を
よく聞きます。すっかり観光地
化してしまつたなど、シビアな
意見も多く、身につまされるこ
とも多々あります。観光業と保
存事業がうまく折り合う方法を
探し出したいものです。